

～未来の自分と大切な家族のために～

# 知っておくべき 相続の基礎

---

とおやま じゅんこ

# はじめに

長寿は今の世代が享受できる大きな恩典です。

しかし、厚生労働省が発表した2016年の国民生活基礎調査によると、介護が必要な高齢者を65歳以上の高齢者が介護するいわゆる「老老介護」の世帯の割合が過去最高の54.7%を記録し、今後さらに多くなる予想です。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/05.pdf>

確認日時：2017年12月1日10時

高齢者に金融資産が偏在し、世代間の格差が広がることばかりが問題視され、税法も相続税を重くし、若い世代への資産移転を促進させるため、贈与税の非課税措置の拡大、優遇税制の創設も誕生し贈与を後押ししているかに見えます。また、金融機関もハウスメーカーも税金対策と称して、いまだに賃貸物件の購入を提案し建設を進めております。

一方で、今は「もめないように」を相続対策の第一課題にする方も増えてきました。

また、子どもに残すよりも、ご自身の充実した人生を送ることを大切にされる方も少なくありません。

相続は不動産やものを渡すだけでなく、その人の生き方や人生の終わり方を考えることで、みんなが望む相続対策に近づくことをお知らせしたくて、この本を執筆しました。

また、相続の基礎がわかってこそ正しい対策も生まれてきます。

この本は、日頃のお客様から寄せられたご質問を参考にQ&A形式にしてあります。気になるところからお読みいただいても、最初からお読みいただいても構いません。読んでもわからないところはお気軽にご質問ください。

今日は94歳の方が相続対策のご相談にいらっしゃいました。

生きている限り「もう遅い」はありません。税金から、遺言書の作成方法、さらに、「これからの生き方ノート」と言える「エンディングノート」も添えてあります。

この本を読まれるすべての方の「終わりよければすべてよし」が少なくとも三代続きますことを心より願っております。

2017年7月7日

著者を代表し、とおやまじゅんこ

執筆者	遠山秀幸	遠山順子
	弓削田剛史	小泉真一郎
	横井大覚	市川翔子
	花井伸幸	横川嵩史